

キャリアパス

内閣府では、概ね2年で人事異動があり、様々な部局の仕事を経験します。
その中で、各自の適性に合った専門性を培っていきます。
また、定期的に配属先に関する希望を申告する制度があります。

09-10
page
計量分析室
村田 佑介 (3年目)



11-12
page
政策統括官(沖縄政策担当)付参事官(企画担当)付主査付
高田 まり (3年目)



係員級 (1~3年目)

係長、課長補佐のサポートを行い、課内業務実施の円滑化を図る。

09-10
page
計量分析室 政策企画専門職
宮城 衛人 (4年目)



11-12
page
政策統括官(沖縄政策担当)付
参事官(総括担当)付総括担当主査
田中 裕太郎 (5年目)



係長級 (4~7年目)

課長補佐のサポートを行いながら、課室内の実務の中心として活躍する。

13
page
政策統括官(経済財政運営担当)付
参事官(総括担当)付参事官補佐
権田 直 (17年目)



14
page
大臣官房総務課課長補佐(審査担当)
大部 沙絵子 (15年目)



課長補佐級 (8年目以降)

行政の最前線で政策の企画・立案の中心的役割を務める。

15-16
page
政策統括官(経済財政分析担当)付参事官(地域担当)
澤井 景子 (27年目)



17-18
page
内閣官房内閣広報室 総理大臣官邸報道室長
富永 健嗣 (24年目)



課長級

課室内の方針決定。進捗管理等のマネジメントの主体として、所掌事務の政策立案の責任を担う。

内閣府における人材育成

多様な業務を幅広く経験するOJT(オン・ザ・ジョブトレーニング)で能力を培っていく他、専門性(知識、スキル)を高める研修を実施しています。

政策に対する多角的な視点を養う

- セミナーの開催(政策分析セミナー(基礎編)、経済財政セミナー(基礎~中級編)、特別講座(応用編))
業務に関する幅広いテーマについて、職員あるいは有識者からの講義が行われます。
- 育成プログラム
各テーマに詳しい職員(育成主任)によるゼミで、政策分析に応用できる知恵を養います。

専門性を培う

- 基礎講座、理論研修(基礎編、応用編)
経済学や統計学など、政策分析に役立つ知識を理論的に体系だって学びます。(隔年開催)
- 留学、大学・研究機関・国際機関への派遣 等
「留学」で専門的な学問を習得するほか、「大学・研究機関・国際機関への派遣」を通じて、専門家として活動して研究活動を行います。(※P.43~46参照)